

Java インストール手順書

第8版

(社) 日本医師会

改訂履歴

初版	2004年1月23日	新規作成
2版	2004年2月3日	「フォントの設定」を追加
3版	2004年7月13日	「リソースファイルのダウンロード」を追加。 バージョン番号表記を変更
4版	2005年11月21日	「リソースファイルのダウンロード」を修正。 ホームディレクトリ、ユーザ名の記述を修正。
5版	2006年10月10日	全面改訂。
6版	2007年12月13日	/usr/localへインストールする形態から、Debianパッケージとしてインストールする形態へ移行。 対象JDKバージョンを1.5 Update9へ。
		aptlineからのインストール、Etch対応
7版	2009年5月22日	Ubuntu Hardy 対応
8版	2012年1月26日	OpenJDK 移行

目次

はじめに.....	4
概要.....	4
必要なもの.....	4
本書での表記方法.....	4
OpenJDK について.....	5
インストール.....	5
必要なパッケージのインストール.....	5
別バージョンの切り替え.....	7
動作確認.....	8
アンインストール.....	8
旧版.....	9
Sun Java について.....	9
インストール.....	9
必要なパッケージのインストール.....	9
動作確認.....	13
アンインストール.....	13

はじめに

概要

本書は日医標準レセプトソフト(以下、日レセ)がインストールされている Linux にパッケージ版の Java をインストールする手順を記載したものです。

必要なもの

Java のインストールには、ネットワークに接続された、日レセが動作する Linux マシンが必要です。

Java のインストール時に aptitude コマンドを使用したり、ファイルのダウンロードを行ったりしますので、インターネット接続が可能な状態にしておいてください。

本書での表記方法

Java のインストール作業は主にスーパーユーザで行い、Ubuntu のターミナルでのコマンド入力が必要になります。

本書では以下のようにコマンド入力を枠の内側に表記します。

```
$ sudo -i
[sudo] password for user:
# ifconfig
eth0   リンク方法:イーサーネット   ハードウェアアドレス  **:**:**:**:**:**
       inet アドレス:192.168.1.10   ブロードキャスト:192.168.255.255   マスク:255.255.128.0
(略)
# exit
```

1行目の「\$ sudo -i」のように、行の頭に「\$」がある時は、一般ユーザ(ORCA ユーザなど)のコマンド入力を表します。

また、3行目の「# ifconfig」のように「#」が行の頭にある場合はスーパーユーザでのコマンド入力を表します。

他の行はコマンドに対する出力結果を表します。

「(略)」はコマンド出力の一部を省略してあることを表します。

OpenJDK について

Ubuntu 10.04 LTS では sun-java6 から openjdk-6 を利用することを推奨しています。

新規インストール時は OpenJDK をインストールを推奨します。

インストール

必要なパッケージのインストール

以下のコマンドを実行し、日本語フォントとパッケージ作成ツールをインストールします。

```
$ sudo aptitude update  
  
$ sudo aptitude install openjdk-6-jre
```

パッケージの依存関係により他のパッケージもインストールします。

```
パッケージリストを読み込んでいます... 完了  
依存関係ツリーを作成しています  
状態情報を読み取っています... 完了  
拡張状態情報を読み込んでいます  
パッケージの状態を初期化しています... 完了  
タグのデータベースを構築しています... 完了  
以下の新規パッケージが自動的にインストールされます:  
  ca-certificates ca-certificates-java java-common openjdk-6-jre-headless  
  openjdk-6-jre-lib ttf-dejavu-core tzdata-java  
以下の新規パッケージがインストールされます:  
  ca-certificates ca-certificates-java java-common openjdk-6-jre  
  openjdk-6-jre-headless openjdk-6-jre-lib ttf-dejavu-core tzdata-java  
0 個のパッケージを更新、 8 個を新たにインストール、 0 個を削除予定、 0 個が更新されていない。  
34.9MB のアーカイブを取得する必要があります。 展開後に 95.2MB のディスク領域が新たに消費  
されます。  
続けますか? [Y/n/?] y
```

...(省略)

```
openjdk-6-jre-lib (6b18-1.8.3-0ubuntu1~8.04.2) を設定しています ...
openjdk-6-jre-headless (6b18-1.8.3-0ubuntu1~8.04.2) を設定しています ...
openjdk-6-jre (6b18-1.8.3-0ubuntu1~8.04.2) を設定しています ...
  ca-certificates-java (20100406ubuntu1~hardy1) を設定しています ...
creating /etc/ssl/certs/java/cacerts...
done.
```

```
パッケージリストを読み込んでいます... 完了
依存関係ツリーを作成しています
状態情報を読み取っています... 完了
拡張状態情報を読み込んでいます
パッケージの状態を初期化しています... 完了
拡張状態情報を書き込んでいます... 完了
タグのデータベースを構築しています... 完了
```

openjdk-6-jre は Java の動作に必要なパッケージです。すでにインストールされている分については省略してもかまいません。

以上でインストール終了です。

別バージョンの切り替え

システム上に複数の Java、Java 互換パッケージがある場合、update-alternatives コマンドで切り替えることができます。

以下のコマンドを入力します。

```
$ sudo update-alternatives --config java
```

この場合、Sun Java が選択されています OpenJDK に切り替えるには、'1' を入力して、完了してください。

```
$ sudo update-alternatives --config java
`java' を提供する 2 個の alternatives があります。

  選択肢          alternative
-----
+   1  /usr/lib/jvm/java-6-openjdk/jre/bin/java
*   2  /usr/lib/jvm/java-6-sun/jre/bin/java

デフォルト[*]のままにするには Enter、さもなければ選択肢の番号のキーを押してください: 1
```

OpenJDK が選択されます。

```
Using '/usr/lib/jvm/java-6-openjdk/jre/bin/java' to provide 'java'.
```

動作確認

以下のコマンドを実行し、出力が確認できれば正しくインストールされています。

```
$ which java
/usr/bin/java
```

```
$ java -version
java version "1.6.0_18"
OpenJDK Runtime Environment (IcedTea6 1.8.3) (6b18-1.8.3-0ubuntu1~8.04.2)
OpenJDK Server VM (build 16.0-b13, mixed mode)
```

バージョンおよびビルド番号は異なる場合があります。

アンインストール

Java をアンインストールする手順は以下の通りです。

Java パッケージを削除します。

```
$ sudo aptitude remove openjdk-6-jre
```

以上でアンインストール終了です。

旧版

Sun Java について

sun-java6 から openjdk-6 を利用することを推奨しています。
新規インストール時は OpenJDK をインストールを推奨します。

インストール

必要なパッケージのインストール

以下のコマンドを実行し、日本語フォントとパッケージ作成ツールをインストールします。

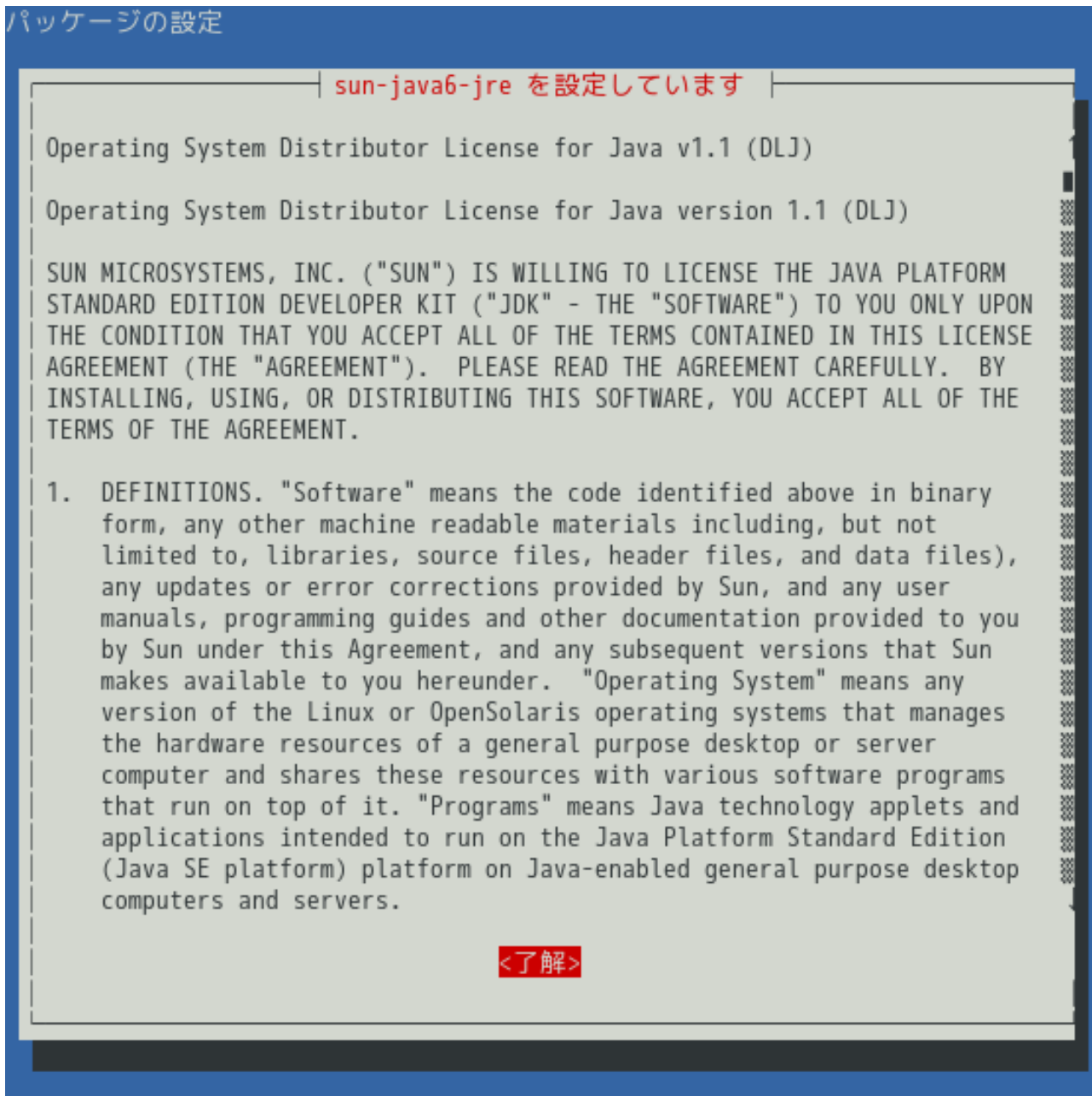
```
$ sudo aptitude update  
$ sudo aptitude install sun-java6-jre
```

パッケージの依存関係により他のパッケージもインストールします。

```
パッケージリストを読み込んでいます... 完了  
依存関係ツリーを作成しています  
状態情報を読み取っています... 完了  
拡張状態情報を読み込んでいます  
パッケージの状態を初期化しています... 完了  
タグのデータベースを構築しています... 完了  
以下の新規パッケージが自動的にインストールされます:  
  java-common odbcinst1debian1 sun-java6-bin unixodbc  
以下の新規パッケージがインストールされます:  
  java-common odbcinst1debian1 sun-java6-bin sun-java6-jre unixodbc  
0 個のパッケージを更新、 5 個を新たにインストール、 0 個を削除予定、 0 個が更新されていない。  
アーカイブ 34.0MB 中 34.0MB を取得する必要があります。 展開後に 97.9MB のディスク領域が新たに消費されます。  
続けますか? [Y/n/?] y
```

インストール中にライセンスの確認が表示されます。

パッケージの設定



フォーカスを<了解>に合わせて選択します。

さらにライセンス条項に同意するか聞かれます。



フォーカスを<はい>に合わせて選択します。

```
sun-dlj-v1-1 license has already been accepted
java-common (0.28ubuntu3) を設定しています ...
odbcinst1debian1 (2.2.11-16build1) を設定しています ...
unixodbc (2.2.11-16build1) を設定しています ...
sun-java6-jre (6-07-3ubuntu2) を設定しています ...
sun-java6-bin (6-07-3ubuntu2) を設定しています ...
```

```
Processing triggers for libc6 ...
ldconfig deferred processing now taking place
```

```
パッケージリストを読み込んでいます... 完了
依存関係ツリーを作成しています
状態情報を読み取っています... 完了
拡張状態情報を読み込んでいます
パッケージの状態を初期化しています... 完了
拡張状態情報を書き込んでいます... 完了
タグのデータベースを構築しています... 完了
```

sun-java6-jre は Java の動作に必要なパッケージです。すでにインストールされている分については省略してもかまいません。

```
# exit
```

以上でインストール終了です。

動作確認

以下のコマンドを実行し、出力が確認できれば正しくインストールされています。

```
$ which java
/usr/bin/java

$ java -version
java version "1.6.0_07"

Java(TM) SE Runtime Environment (build 1.6.0_07-b06)
Java HotSpot(TM) Client VM (build 10.0-b23, mixed mode, sharing)
```

バージョンおよびビルド番号は異なる場合があります。

アンインストール

Javaをアンインストールする手順は以下のとおりです。

Javaパッケージを削除します。

```
$ sudo -i

# aptitude remove sun-java6-jre
```

以上でアンインストール終了です。